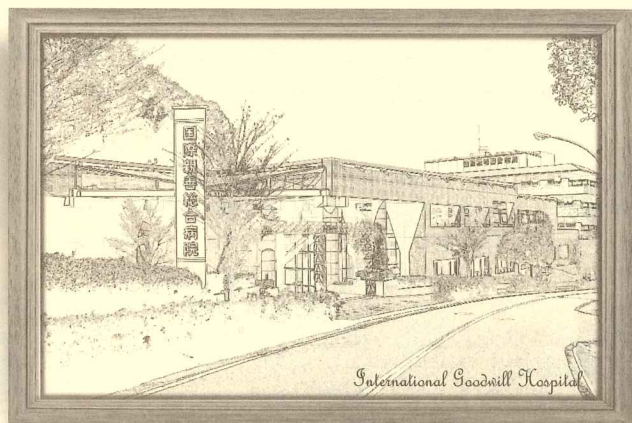


第206号

平成23年8月10日

病院だより



院外処方について

Mizuho Itou

伊東 瑞穂

不整脈といわれたら

Makoto Shimizu

清水 誠

キッズセミナーを開催して

Noriaki Kaneyama

亀山 哲章

国際親善総合病院

URL <http://shinzen.jp>

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (庶務課)

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト



院外処方について

当院では平成23年5月1日の電子カルテ導入時より、併せて外来患者さんのおくすりを院外薬局で、調剤して頂けるように変更いたしました。

外来診療時に医師が発行する「院外処方せん」を会計の際にお渡ししますので、その処方せんを保険調剤薬局へお持ちください。従来と比べますと手間が増えることにはなりますが、これは「医薬分業」を推進している厚生労働省の基本政策でもありますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

院外処方には次のような利点があります。

- 保険調剤薬局は自由に選んで頂けます。当薬剤部ではこれまで病院内での処方全ての薬歴（患者さん毎の処方の記録やアレルギーや副作用等の情報）を確認していましたが、今後はかかりつけ薬局を決めることにより、当院だけでなく他の病院や診療所で処方されたおくすりとの重複や飲み合わせのチェックが可能となります。
- 今までのおくすりと同等の効能・効果を持った後発医薬品（ジェネリック）への変更が可能です。後発医薬品とは先に製造・販売されたおくすりの特許（原則20年）が切れたあとのもので先のおくすりより安価となります。変更可能なおくすりがあるかどうか等、保険調剤薬局にてご相談ください。

次の点にはご注意ください。

- ※ 院外処方せんには有効期限があります。通常は発行日を含め4日間です（土・日・祝日も4日間に含まれます）。

<院外処方せん案内所（泉区薬剤師会）の設置>

平成23年10月30日まで

処方せんをお持ち頂く保険調剤薬局は「保険薬局」、「保険調剤」、「処方せん受付」等の表示のある薬局であればどちらでもかまいませんので直接お持ち下さい。ご自宅近くの保険調剤薬局の所在等をお知りになりたい方は、当院1F正面玄関右側に院外処方せん案内所を設けておりますのでご相談ください（受付時間：月～土9：00～14：00）。

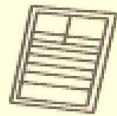
尚、患者さんによって自己負担金が多少増えることがあります。医薬品をより安全に、有効に使用するための制度とご理解くださいますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、薬剤部窓口までお問い合わせください。

病院で診察



院外処方せん



保険調剤薬局でおくすり



不整脈といわれたら

皆さんがもし病院で“不整脈ですね”と医者に言われたらどう感じるでしょうか？“糖尿病ですね”とか、“胃潰瘍がありますよ”といわれた時に比べると、「えっ、不整脈？」という漠然とした不安感や、心臓の病気という恐怖感など、様々な疑問符が頭のなかを駆け巡るのではないかと思います。これは不整脈という言葉が適切ではないからです。

不整脈という言葉は医学でしか使用しない言葉ですが、病名ではありません。脈が乱れているという状態を表しているだけで、心臓の病気の事もあります。脈が乱れているという状態を表しているだけで、心臓の病気の事もありますが他の病気に伴って起き、その病気を治すと勝手に無くなってしまふものもあります。またそれが良いものか悪いものなのか、治療し根絶しなければならない人類の敵なのか、我々には無害のものなのか、この言葉だけではわかりません。不整脈の理解のためには不整脈の分類、不整脈の起こり方、不整脈によって引き起こされる自覚症状と健康上の害、放っておいたらどうなるのか、治療方法などを知る必要があります。ほとんどの不整脈は困った症状があるときだけ治療が必要になり、それ以外の時は放置するのが一番です。ただし、不整脈によって他の心臓の病気が見つかった場合、ある種の特異的な不整脈の場合は症状の有無にかかわらず治療が必要となります。治療法も食事・運動などの非薬物療法から、様々な薬物療法、手術療法（ペースメーカー植え込み手術、植え込み型除細動器、カテーテルアブレーション、外科手術）など多様です。

これらの内容について代表的な心房細動、心室性期外収縮、完全房室ブロックなどを例にして説明したいと思います。

循環器内科部長 清水 誠



このテーマは

平成23年9月9日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

キッズセミナーを 開催して



平成23年7月24日(日)に当院にて小学生を対象としたキッズセミナーを開催しました。当院では3回目になりますが、今回は医療専門職(スペシャリスト)体験セミナーとし、医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士の5部門の職業体験を午前(低学年)・午後(高学年)の2回にわたり行いました。

各40人の小学生が参加し、付き添いの保護者の方々を含め、午前午後共に70人を超える人数が、1階外来スペースと地下1階(検査・放射線・医学療法室)に分かれて4時間近くわたるセミナーを体験しました。実際に診療に使用する器機に触れ、体験することは子供たちにとっては、目新しいことばかりでとても真剣に取り組んでいました。保護者の方々も医療については興味深く熱心に耳を傾けられていました。

企画から実施まですべて院内の職員によるボランティアで行い、当日は安全かつ充実したセミナーが行われるように95人を超えるスタッフが参加しました。朝から夕方までフルに参加したスタッフは疲れ切っているようでしたが、子供たちの真剣な眼差しと充実した笑顔、保護者の満足した表情を感じ、最後まで笑顔を欠かさず丁寧な対応ができたと思います。

アンケートによると参加者及び保護者の方々の95%以上が「とても楽しかった」、「是非続けて欲しい」との回答を受け、満足してもらえるセミナーが行われたことを裏付けるものとなりました。また、「病院はいろいろな職種の人がいることが分かった」といったご意見や「病気になった時はこの病院で診てもらいたい」といったうれしい言葉を頂きました。

今回、子供たちの74%が将来医療従事者になりたいと回答しており、参加した子供たちと国際親善総合病院で一緒に働く日が来ることを心から期待しつつ、キッズセミナーの報告を終えたいと思います。

第3回キッズセミナー実行委員長

外科部長 亀山 哲章

